

3. 異臭味がする

(1) 朝使い始めに臭いを感じる。

〔原因〕

一般的に人間の臭覚は、朝の起床時に一番強く感じるといわれています。朝使い始めだけ臭気を感じる場合は、臭いの感度が高くなっているためと思われますのでご安心ください。

また、水道水が給水管の中に長時間滞留していると、使用している管の種類により、各種の臭いが水につくことがあります。

〔対策〕

特に、新しい管のときは強く臭うことがあります。使用するにつれて臭いはなくなります。臭いがあるときはしばらく掛け流し(他の用途に利用)にしてから使用されることをお勧めします。

もし、しばらく掛け流しにしても臭いが続くようでしたら、現場調査が必要と考えられます。

〔参考事例〕

- ① 「樹脂のような臭いがする」との苦情が寄せられ、現場調査の結果、新築したばかりの家で、使用水量が少なく、給水管(材質:硬質塩化ビニル管)内で水道水の滞留が起きたため、塩化ビニル樹脂の臭いが付いたためでした。
- ② 古いマンションの使用者から「朝一番の水が泥臭い。または、生臭い。」との苦情が寄せられました。現場検査の結果、受水槽以下の給水装置に亜鉛メッキ鋼管が使用されており、鉄などの金属が溶出し、臭いが発生したためでした。

(2) 油臭・薬品臭を感じる

(給水装置の新設・付設替えをした場合)

〔原因〕

給水管工事には、少量の油またはグリス等を使用することがあります。これが水に臭いを付けることもあります。工事完了時には、きれいに拭き取られますが、臭いが給水管に付着し、水に臭いを付けることもあります。

〔対策〕

しばらく使用していると、臭いは無くなります。

もし、使用していても臭いが無くならない場合は、給水装置が油や薬品またはクロスコネクション(自家水の配管が水道の給水装置に直接つながっている違法工事)によって汚染された可能性があります。現場調査が必要となります。

(3) シンナー臭・薬品臭を感じる

(給水装置の新設・付設替え、または新築・改築工事をした場合)

〔原因〕

給水工事には、少量の接着剤などを使用することがあります。これが水に臭いを付けることがあります。

〔対策〕

しばらく使用していると、臭いは無くなります。

もし、使用していても臭いが無くならない場合は、塗装工事による塗料が何らかの原因で土中にしみこんで給水管を侵し、水道水に影響を与えた可能性がありますので現場調査が必要となります。

[参考事例]

- ① 「水がシンナー臭い」との苦情が寄せられ、現場調査の結果、建築時に建設業者が捨てた塗料が土中にしみこみ、硬質ビニル管を柔らかくし、管が太くなり(膨潤)なり、浸透した塗料によって水道水に臭いが付いたことが判明しました。
塗料によって汚染された土壌を入れ替え、硬質ビニル管を交換してシンナー臭は解消しました。
- ② 「水道水が薬品臭く、甘味があるような感じがする」との苦情が寄せられ、現場調査の結果、苦情者宅の隣にある塗料会社の倉庫に保管されていたシンナーが容器の管から漏れて土中にしみこみ、硬質塩化ビニル管を柔らかくし、管が太く(膨潤)なり、浸透したシンナーによって水道水に臭いが付いたことが判明しました。
シンナーによって汚染された土壌を入れ替え、硬質ビニル管を交換して臭は解消しました。

(4) カルキ臭・塩素臭を感じる

[原因]

水道により供給されている水については、水道法によって病原生物の汚染を防止する目的で、塩素消毒(水道法施行規則第17条第3項により、遊離残留塩素を0.1mg/l以上)が義務づけられています。

塩素は水中の細菌を殺す働きをしており、これがないと水道水が病原菌で汚染される恐れがあります。このため、浄水場では安全性を見込み(すべての管末で検査が必要です)一定量の塩素を注入しています。

一般的に臭いを強く感じるのは、朝の起床時といわれています。朝の使い始めだけ強く感じる場合は、臭いの感度が高くなっているためと思われますので、心配はありません。

なお、五泉市上下水道局では塩素消毒剤として、次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。

[対策]

各家庭で水を美味しく飲むためのもっとも手軽な方法は、冷やすことです。そのほか煮沸する方法がありますが、残留塩素が無くなりますので早めにお使いください。

(5) 普段と異なる味がする

[原因]

水道水は、無味臭に近いものですが、鉄、銅、亜鉛などの金属を多く含むと、金属味や渋味となります。給水管にこれらの材質を使用しており、滞留時間が長くなると普段と異なる味がする場合があります。

また、蛇口の水が、塩辛い味、苦い味、渋い味、酸味、甘味などを強く感じた場合は、工場排水、下水、薬品などの混入やクロスコネクション(自家水の配管が水道の給水装置に直接つながっている違法工事)が考えられます。

[対策]

滞留時間が長くなる朝の使い始めは、なるべく掃除に使用したり、植木に散水するなど雑用水に利用してから、飲用に使用してください。

塩辛い味、苦い味、渋い味、酸味、甘味などを強く感じた場合は、飲用を停止してもらい、ただちに現場検査をして対応を図る必要があります。

[参考事例]

「雑居ビルの方から給水栓の水の出が悪く、その水を飲むと舌がピリピリする。」との苦情が寄せられ、現場調査の結果、pH値や酸度などが異常な値を示しました。雑居ビルの各戸を調査したところ、喫茶店で使用していた炭酸飲料製造装置(ソーダマシン)が給水装置に直結されており、逆止弁が故障したため、炭酸ガスボンベから炭酸ガスが給水管に入り込んだためと判明しました。